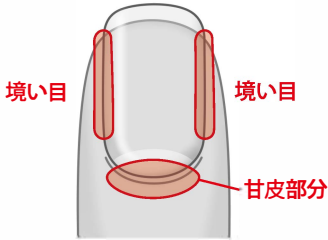


オイルの塗り方

用意するもの



②



指先を上にしたまま手の甲を自分に向ける。爪の左右両側の指との境目にオイルが流れ落ちて甘皮部分に溜まっていくのを確認する。

④



片方の手のひらに、1円玉くらいの大きさに水を垂らす。

⑥



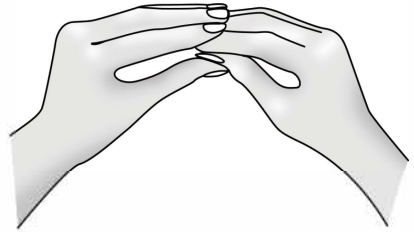
乳化したオイルを手の甲など全体に塗り込み、なじませる。乳化させることでより浸透しやすくなる。保湿力も高まり、より長く乾燥を防ぐ。

①



指先を上に向けて、爪の裏側と指の間にオイルを垂らす。指の上から左右にオイルが流れるくらいの量が目安。両手の指すべてにオイルをつける。

③



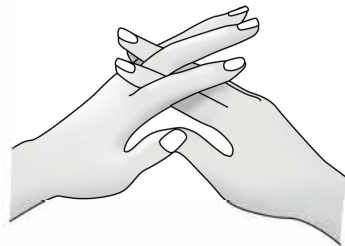
両手の指先をよくもむようにすり合わせ、すべての指の甘皮と爪表面にオイルを塗り込む。爪の表面と裏側、爪全体にオイルを行き渡らせる。

⑤



反対側の手の指先で、指についたオイルと水を混ぜ合わせる。水の中に細かい粒子となったオイルが分散し、水とオイルが混ざり合う（乳化）。

⑦



両手の指と指を交差させて、指の間もしっかりオイルを塗りこむ。乳化させたオイルはよく浸透するためベタつきが少なくなる。もし、ベタつきが気になる場合は、ティッシュを軽く当てる。